

平成28年度 学校運営連絡協議会実施報告

都立竹早高等学校

1 組織

- (1) 都立竹早高等学校 学校運営連絡協議会 (全日制課程)
- (2) 事務局の構成 副校長、総務部主任 (事務局長)、経営企画室主事 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭 (進路指導主任)、生活指導主任、教務主任、
厚生主任、総務主任 計8名
- (4) 協議委員の構成
保護者代表2名、同窓会代表、近隣中学校長2名、近隣専門学校長、大学教員、
地域公共機関代表2名 計9名

2 平成28年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会 (第1～3回) の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 平成28年6月23日(木) 16:00～17:00 内部委員8名、協議委員7名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、前年度学校運営連絡協議会実施報告、
学校経営報告・計画、本校の現状と課題等、意見交換・協議
第2回 平成28年11月29日(火) 16:00～17:00 内部委員8名、協議委員7名
第1学年生徒の中学校時進路選択についてのアンケート調査結果、土曜講習前期受講者アンケ
ート調査結果、いじめ防止 (学校サポートチーム)、本校の現状と課題等、
学校評価アンケート項目の検討、意見交換・協議
第3回 平成29年3月8日(水) 16:00～17:00 内部委員8名、協議委員6名
教育活動報告(成果と課題)、学校評価結果報告、学校評価結果を生かした学校運営の改善、
意見交換・協議
- (2) 評価委員会の開催日時
第1回 平成28年6月23日(木) 17:00～17:30 内部委員2名、協議委員1名
学校評価の基本方針、平成28年度学校評価の課題確認、平成28年度評価項目の検討
第2回 平成28年11月29日(火) 17:00～17:30 内部委員2名、協議委員1名
学校評価アンケートの観点・項目の確認、評価実施時期の検討
第3回 平成29年3月3日(金) 11:00～11:30 内部委員1名、協議委員1名
学校評価アンケート結果の集計・分析について確認、提言の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点
本校の教育目標ならびに学校経営計画に照らし、学校運営、学習指導、読書活動、特別活動、生
活指導、進路指導、健康・安全、施設・設備等の状況について達成度、満足度を評価する。
- (2) 学校評価アンケートの調査時期・対象・規模・回収率 () 内は前年
実施時期12月 調査対象 生徒759名 保護者759名 教職員51名(管理職を除く)
回収率 生徒96% (94%)、保護者86% (76%)、教職員98% (100%)
- (3) 主な評価項目
・ 学校運営、学習指導、読書活動、特別活動、生活指導、進路指導、健康・安全、施設・設備等
・ 今年度の重点目標、生徒の志望理由、満足している点、不満を感じている点
- (4) 評価結果の概要
①生徒の志望理由

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
第1位	校風・歴史 (47%)	校風・歴史 (48%)	校風・歴史 (55%)
第2位	学校の評判 (38%)	学校行事 (43%)	進学実績 (34%)
第3位	進学実績 (32%)	進学実績 (28%)	学校行事 (33%)
第4位	在校生の姿 (29%)	在校生の姿 (27%)	交通の便 (26%)
第5位	交通の便 (28%)	学校の評判 (25%)	学校の評判 (25%)

②生徒の満足している点

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
第1位	交友関係 (54%)	学校行事 (40%)	学校行事 (45%)
第2位	学校行事 (48%)	交友関係 (37%)	交友関係 (45%)
第3位	部活動 (33%)	部活動 (22%)	校風・歴史 (34%)
第4位	校風・歴史 (24%)	校風・歴史 (21%)	部活動 (29%)
第5位	学習指導 (23%)	交通の便 (20%)	交通の便 (18%)

③生徒の不満を感じている点

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
第1位	交通の便 (39%)	交通の便 (41%)	交通の便 (47%)
第2位	施設・設備 (28%)	施設・設備 (35%)	施設・設備 (41%)
第3位	学習指導 (18%)	学習指導 (18%)	学習指導 (17%)
第4位	教育課程 (15%)	校風・歴史 (17%)	教育課程 (12%)
第5位	校風・歴史 (11%)	教育課程 (13%)	部活動 (10%)

④学校への期待

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「入学前にもっていた期待はかなえられている」と回答した生徒	72%	74%	77%

⑤学習指導

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「授業の基礎的・基本的な内容は理解できる」と回答した生徒	88%	89%	90%
「教科指導の工夫・改善により基礎的・基本的な事項の徹底が図られている」と回答した教職員	100%	98%	98%
「授業の質が高く、知的好奇心・向上心が刺激される」と回答した生徒	65%	76%	76%
「自主的・意欲的に学ぶ態度を増進し、自ら課題を発見し、解決する能力の育成が図られている」と回答した教職員	92%	94%	96%
「自分の進路に必要な内容を適切に教えてくれる」と回答した生徒	83%	84%	88%
「進路希望の実現に結びつく学習指導を行っている」と回答した保護者	73%	75%	75%
「授業に積極的に取り組んでいる」と回答した生徒	75%	78%	80%

⑥読書活動

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した生徒	60%	74%	49%
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した保護者	51%	39%	38%
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した教職員	78%	92%	90%

⑦特別活動

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「学校行事に意欲的に取り組んでいる」と回答した生徒	85%	88%	90%
「学校行事は、活発である」と回答した保護者	89%	93%	93%
「竹早祭や体育祭など、学校行事の完成度を高める指導を行っている」と回答した教職員	86%	83%	98%
「部活動に積極的に取り組んでいる」と回答した生徒	81%	85%	84%
「部活動は、活発である」と回答した保護者	68%	73%	70%
「部活動の活性化を支援し、生徒一人一人が楽しく学校生活を送ることができるように配慮している」と回答した教職員	80%	81%	94%

⑧生活指導

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「本校の生活指導は、生徒の学校生活を支援するものになっている」と回答した生徒	69%	71%	74%
「本校では、行き届いた生活指導を行っている」と回答した保護者	67%	72%	71%
「時間を守る、身だしなみを整えるなど自律的な生活態度の確立が図られている」と回答した教職員	72%	73%	93%
「先生は、生徒の意見や悩みをよく聞き、適切に対応している」と回答した生徒	78%	80%	79%
「本校では、生徒の抱える様々な悩みに答えられる適切な指導が行われている」と回答した保護者	45%	48%	48%
「生徒の心と体の健康な発達を促し、安全で清潔な学習環境の整備に努めている」と回答した教職員	84%	93%	92%

⑨進路指導

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「本校は、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など適切な進路指導を行っている」と回答した生徒	87%	87%	88%
「本校では、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など、適切な進路指導を行っている」と回答した保護者	74%	72%	70%
進路情報の活用や進路室の利用、進路相談機能の充実が図られている」と回答した教職員	92%	98%	100%
「進路室は利用しやすい」と回答した生徒	42%	52%	59%

⑩健康・安全、施設・設備、その他

回 答	平成28年度	平成27年度	平成26年度
「本校は、人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじるよう自覚を促している」と回答した生徒	77%	79%	82%
「本校は、すべての教育活動において人権尊重の精神を育てる指導を行っている」と回答した保護者	52%	55%	60%
「すべての教育活動を通して、生徒に人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじる社会の一員としての自覚を促している」と回答した教職員	78%	98%	88%
「本校は、避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した生徒	79%	79%	82%
「本校では、避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した保護者	77%	74%	73%
「本校の施設は、生徒が授業や生活がしやすいように整備されている」と回答した生徒	71%	75%	74%
「本校の施設は、よく整備されている」と回答した保護者	61%	64%	61%
「本校の電話（窓口）対応は、よい」と回答した保護者	67%	67%	70%
「窓口対応と実務能力のスピードアップが図られている」と回答した教職員	84%	96%	94%
「本校は、生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した保護者	53%	60%	61%
「生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した教職員	90%	86%	94%
「本校は、体罰根絶に向けて取り組んでいる」と回答した保護者	49%	51%	53%
「本校は、いじめの未然防止、いじめの実態把握及びいじめに対する措置等、いじめに対する取組を適切に行っている」と回答した保護者	40%	43%	47%
「子どもを竹早高校に入れてよかった」と回答した保護者	90%	93%	90%

(5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

① 生徒の志望理由

「校風・歴史」、「進学実績」は前年に引き続き、本校を志望する大きな動機となっている。内訳をみると、「校風・歴史」が例年通り高く、「学校の評判」のポイントが大きく伸びた。また「進学実績」が若干増となり、本校の進学指導の取組が周知されてきたものと言えよう。また、文化祭等への来校者は増加傾向にあるが、「学校行事」のポイントが若干減少している。伝統ある「校風・歴史」を尊重しつつ、進学指導推進校としての使命を果たしていく必要がある。

② 満足している点

全体的に生徒の満足度の数値が上昇している。項目別にみると、昨年同様、「交友関係」と「学校行事」が生徒の満足度の上位を占めた。交友関係が1位であることから、多くの生徒が安心して学校生活を送れていることを伺わせる。「学習指導」及び「部活動」が若干ではあるが数値が上昇しており、「学習指導」は5位に浮上し、過去3カ年で初めて上位に上った。今後は、「学習指導」「進路指導」をより充実させ、生徒の満足度につながることを期待したい。

③ 不満を感じている点

上位は、「交通の便」・「施設・設備」で変動はない。全体的にポイントは下がっており、良い傾向であると考え。「交通の便」については対処できないと考える。「施設・設備」については、都へ改善要望を出されているようであるが、自由意見で挙がってるトイレ改修を中心に引き続き働きかけていただきたい。「学習指導」は満足していない生徒が昨年度同様に一定数いるので、どの点に不満を持っているのか詳しく分析し対応していく必要がある。また、「学校の評判」は昨年度に比し大きくなっており、注視することが必要である。

④ 入学前の期待の実現

肯定的評価は昨年度とほぼ同じであった。否定的評価をした生徒が3割近くいるので、広報活動をより充実させ、本校の教育活動について中学生へ正しく情報発信していくとともに、在校生に対して本校の教育方針を理解させて指導に当たっていく必要がある。

⑤ 学習指導

全体としてはほぼ例年通りである。項目別にみると、「自分は、授業に積極的に取り組んでいる。」については年々肯定的評価が減少している。学校生活の中心は授業であることを生徒へ徹底し、積極的に取り組むための動機付け・支援等を組織的に行っていただきたい。また、「授業の基礎的・基本的な内容は理解できる」と答えた生徒は4年連続で減少しているが、授業の質が向上し、生徒に適度な負荷がかかる授業が展開されていると前向きに捉えたい。また、「授業の

質が高く、知的好奇心・向上心が刺激される」及び「自分の進路に必要な内容を適切に教えてくれる」と回答した生徒がともに1，3年で減少していることが気になる。教員が、組織的に指導法をさらに工夫して、生徒の進路に必要な内容を適切に教え、生徒の進路実現へつなげる必要がある。引き続き熱心に教えていただきたい。

⑥ 読書活動

学校図書館・図書委員会のビブリオバトルをはじめとした読書の啓発活動が広がりを見せているためか、年々肯定的評価が増加しているが、3年で「無回答」が大きく増加していることが気になる。入学時において読書活動を推進するための新たな方策を検討して、実行に移し、未読率のさらなる減少へつなげていただきたい。

⑦ 特別活動

「学校行事に意欲的に取り組んでいる」及び「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答えた生徒の割合は若干減少したが、8割を維持しており、高い水準で推移していると言える。また「学校行事の完成度を高める指導を行っている」及び「活性化を支援し、生徒一人一人が楽しく学校生活を送ることができるように配慮している」と回答した教員はどちらも昨年とほぼ同様である。生徒の自主性を尊重しながらも、成果をあげられるように、引き続き学校全体で部活動が活性化していくよう生徒への支援・指導をお願いしたい。

⑧ 生活指導

「本校の生活指導は、生徒の学校生活を支援するものになっている」と回答した生徒の割合が年々減少している。本校が掲げる「自主自律」の教育方針について、教職員で共通理解をもち、自主性を重んじるどころと、指導を徹底するところを確認し、生徒の可能性を伸ばす教育を教職員全員で取り組んでもらいたい。また、「行き届いた生活指導を行っている」及び「本校では、生徒の抱える様々な悩みに応えられる適切な指導を行っている」と回答した保護者の割合も同様に年々減少しており、引き続き保護者の理解を得ながら、生徒への支援を継続していただきたい。

また、「生徒の心と体の健康な発達を促し、安全で清潔な学習環境の整備に努めている」と回答した教職員は84%と多くの教職員がそう思っているのに対し、「生徒の抱える様々な悩みに応えられる適切な指導が行われている」と回答した保護者は45%とその差は大きく、学校の取組を積極的に保護者や外部に発信していくとともに、保護者とのコミュニケーションを密にし、信頼関係を構築していく必要がある。

⑨ 進路指導

「本校は、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など適切な進学指導を行っている。」と回答した生徒は87%であるが、「進路室は利用しやすい」と回答した生徒は42%で昨年より大きく減少した。特に1，2年生は肯定的意見が少なく、3年生が優先して利用している実態がうかがえる。「進路情報の活用や進路室の利用、進路相談機能の充実が図られている」と回答した教職員が92%であるのと比較すると、生徒と教職員の意識の隔たりは大きいと思われる。生徒が本校の進路指導に期待することは何なのかを捉え直し、特に下級生に対しても適切な進路情報の収集や提供等、適切な進路指導を行う必要がある。

⑩ 健康・安全、施設・設備、その他

「人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじるよう自覚を促している」と回答した生徒は77%、「人権尊重の精神を育てる指導を行っている」と回答した教職員は78%とほぼ同じ割合なのに対し、保護者は52%と昨年までと同様に差は大きい。本校での人権教育への取組がきちんと発信されていない実態が窺える。保護者会や配布物を活用して、広く伝えていく努力が求められる。

「避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した生徒は79%、保護者は77%と、例年と同様の傾向が見られた。宿泊を伴う防災訓練を全学年が経験し、生徒・保護者にその取組が浸透するにつれ、防災意識が高まり、一層の充実を求めていると思われる。今後とも、災害に備えて防災や安全に関する指導を強化し、いざというときに生徒が自他の生命の安全を守れるように、地域や関係機関と連携した効果的な防災訓練の実施を期待する。

「施設の整備」については、施設の老朽化等に伴う改修が十分ではなく、自由意見に挙げられているとおり、特にトイレに対する要望が多い。施設改修の要望を提出し、可能なところから対応していただきたい。

「窓口対応」についての評価は、ほぼ例年と同じである。「生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した教職員が90%なのに対し、保護者は53%と保護者の評価が低く

思われるが、「分からない」という回答が多く、否定的な意見が多いわけでない。

「体罰根絶に向けて取り組んでいる」もほぼ例年と同じ評価であった。引き続き、体罰根絶への取組を保護者へ発信していく必要がある。

いじめ防止の取組についてはまだまだ保護者に周知されていない。学校の取組について見えていない部分があるので、校内でいじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、その取組を保護者に発信する必要があると考える。

「子どもを竹早高校に入れてよかった」と回答した保護者は、今年度も90%と9割を維持することができた。様々な意見を踏まえて改善点を検討し、更に肯定的評価が高まるように教育活動を展開する必要がある。あわせて、教育活動を外部へ積極的に発信し、中学生やその保護者に十分理解いただいた上で受検・入学していただく必要がある。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

教職員の学校評価アンケート回収率は昨年は100%であったが、今年は98%であった。3年生保護者の回収率が大きく増加し、保護者の全体回収率は86%と10ポイント上昇した。

(1) 学校連絡協議会を実施して得られた成果

- ・ 学校評価アンケートの分析が正確かつ詳細に行われており、学校を客観的に評価することが可能となっている。
- ・ 学校からの発信不足や分かりにくさがあることが分かった。
- ・ 生徒たちは部活動や学校行事に積極的に取り組もうとしていることが分かった。
- ・ 学校評価アンケートから、生徒や保護者の意識と教職員の意識との隔たりが明らかになった。これらのアンケート結果を真摯に受け止め、学校経営や授業改善に反映されていくと思われる。
- ・ 自主自律に関してさまざまな意見があるものの、本校の教育活動が概ね理解されていると判断できる。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・ より適正な評価を行うためには、学校評価アンケートの設問を再検討する必要がある。答えにくい設問、分かりにくい設問もみられ、「無回答」が多く見られた。
- ・ 引き続き、学校HPや各種通信、または保護者会やPTAの会合などを通じて、丁寧に学校の取組を発信していく必要がある。
- ・ 毎年2割近くの生徒が学習指導に不満をもっていると回答している。更なる向上のためには実態を細かく分析し、学習指導、部活動・学校行事、進路指導にバランスよく取り組む必要がある。
- ・ 教育課程の改定や土曜授業導入などの学校改革が推進され、募集対策もその成果が入試倍率に反映されており、本校に対する都民の期待は益々高まると思われる。今後も生徒や保護者と意思疎通を図りながら、教育活動の充実に努め、成果をあげていただきたい。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善（学校経営計画への反映）

(1) 学校運営

- ・ 学校経営計画の具現化のための組織的な学校運営を行う。
- ・ 生徒の希望進路実現のため、進路部を中心としたキャリア教育をさらに推進する。
- ・ 教育活動の保護者への確実な伝達や相互理解の充実に努める。
- ・ ホームページの充実・最新情報への更新、教職員全体による広報活動を充実させる。

(2) 学習指導

- ・ 教科を中心に日常的な情報交換（OJT）や相互の授業観察の実施等授業研究を行い、個々の教員の力量を高めていく。
- ・ 自習室の活用や講習会の適切な実施等により、自学自習の態度・習慣を身に付け、生徒自らが課題を発見し、解決する能力を育成する。
- ・ 第三次東京都子供読書活動推進計画に基づき、引き続き生徒の未読率減少のための方策を実施する。

(3) 特別活動

- ・ 学校行事について、生徒の自主性を尊重しながらも、完成度が高まるように教職員が指導する。
- ・ 部活動について、生徒の自主性を尊重しながらも、成果をあげられるように教職員が支援する。

(4) 生活指導

- ・ 生徒に、教員の支援の意図をきちんと理解させる指導が一層求められる。
- ・ 生徒へ対する指導を保護者と共有することが必要である。

- ・ 「生徒に考えさせる指導」、「時間を守る」、「身だしなみを整える」、「あいさつをする」等の意識・姿勢の育成とともに、規範意識を育てる生活指導を継続する。
- (5) 進路指導
- ・ 進学指導推進校として、生徒の進路希望を高いレベルで実現できるように支援する。
 - ・ 低学年から進路指導室を利用する機会を拡大する。
 - ・ 保護者へ進路情報を継続して提供するとともに、時期の見直しや内容の改善を図る。
 - ・ 保護者との面談をとおして情報交換を行い、生徒の自己実現を図る。
- (6) 健康・安全
- ・ 生徒の心身の健康を保持・促進するために、教育相談活動を充実させる。スクールカウンセラーを有効活用するため、全員面談の充実や教育相談の周知方法を工夫する。
 - ・ 生徒の生命の安全確保に向け、共助の視点も取り入れた効果的な防災訓練を実施する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 9名
 (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
3	5	1			

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

なし

8 その他

(協議委員からの意見等)

- ・ 卒業式に列席、素晴らしかった。校歌・君が代・別れの歌、どれも大きな声で、特に男子の声がよく聞こえたのには感動した。昨年度はちょっとしたパフォーマンスがありそれも楽しかったが、今年度はそれがなく、引き締まった式だった。メリハリのある学校行事が行われていると感じた。
- ・ 中学生の希望が増えているのは喜ばしい。
- ・ 大学への受験の取り組みに期待している。
- ・ 父親にもっと学校に足を運んでもらえるよう行事に参加してもらえるよう働きかけをお願いしたい。
- ・ 人気が上がったと実感する。なぜかと考えた時、やはり、中学校にわかりやすい学校になってきたのではないかと。わかりやすく、説明しやすい学校になったことで、安心感があるのではないかと。一過性にしないでほしい。学校経営シートの活用もして行ってほしい。
- ・ 保護者の生の声は、ショッキングだった。どこまで学校のことをわかって関わっているのか腹立たしい。良い点だけでなく、悪い点もすべて出すところが素晴らしい。PTAについても聞いたら、厳しい意見が聞けるのでは。篋会についても聞ける。
- ・ 自主自律とはいえ、フォローが必要。自主自律している気にさせてほしい。
- ・ 話し合いを持ち、子供を信じてほしい。
- ・ 学校のことをわからないまま、アンケートに答えているように感じる。
- ・ 子供が、楽しく活動をしているのを見るのが一番。卒業生が竹早祭に来ているのが、面倒見が良いしるしだと思う。
- ・ 教え方の違いに不満を述べているが、違いを不満と思わせない授業をしてほしい。到達点は同じ、中身は保証されているという安心感を持たせる手立てをするようにしてほしい。
- ・ 学校運営をよろしくお願したい。